

課 題	新規 継続	継続	経常・特別別 目標との関連	経常 1-A	担 当	開 発 箇 所 高岡	期 間 昭和 60年度 — 昭和 65年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経費	品名	数量	単価	金額
	物件費	調査用品		円						千円				
目 的	広葉樹天然林の人工補正作業法								役務費	現像、その他				
									人件費	(基職)時	()人	()	()	
									計	—			()	

全 体 計 画	実 施 経 過	当 年 度 分		
		実 施 計 画	実 施 結 果	評価および普及計画
<p>1. 試験地設定</p> <p>(1) I、II令級林分の仕立本数別試験地</p> <p>(2) ぼうか林分の芽かき試験地</p> <p>2. 調査事項</p> <p>(1) 仕立本数と生長量調査</p> <p>(2) 仕立本数と形質調査</p> <p>(3) 芽かきと保育体系の検討</p> <p>3. 調査状況により、昭和66年度以降の継続について検討する。</p>	<p>1. 試験地設定</p> <p>(1) I令級林分試験地 ア. 宇佐川国有林分試験地内 試験地面積 0.12ha 対照区面積 0.12ha ニ. 生長量国有林分試験地内 試験地面積 0.12ha 対照区面積 0.12ha</p> <p>(2) II令級林分試験地 ア. 宇内山国有林分試験地</p> <p>2. 調査事項</p> <p>(1) 仕立本数調整</p>	<p>1. 試験地設定</p> <p>(1) I、II令級林分の仕立本数別試験地</p> <p>(2) ぼうか林分の芽かき試験地</p> <p>2. 調査事項</p> <p>(1) 仕立本数と生長量調査</p>	<p>1. 試験地設定</p> <p>2. 不用樹種の刈払</p> <p>3. 仕立本数調整</p>	

(様式4)〜1

課題

広葉樹天然林の人工補正施業法

1. 試験地設定とぼうが芽かき、仕立本数の調整

(1) I令級林分

(カ) 宇志川国有林54は林小班内 試験地面積 0.29ha (0.15^{ha} + 0.14^{ha})
対象区 " 0.29" (0.15" + 0.14")

(キ) 宇焼尻国有林5に8林小班内 試験地面積 0.12ha
対象区 " 0.12"

(ク) カシ、シ、タブ、サクラ等の有用広葉樹 ぼうがを1株当り2~3本残し芽かきするとともに稚樹を刈出した。

(ケ) 不良樹種を伐除し仕立本数を調整した。

(コ) 有用広葉樹芽かき後の残存本数及び伐除後の仕立本数調査は、昭和61年度に調査を行う。

(2) III令級林分

(カ) 宇内山国有林112わ林小班内。

(キ) 広葉樹密生の林分について有用~~効~~広葉樹を残し仕立本数を調整した。

2. 生長量の調査

試験地設定時の現況調査は61年度初期実施予定

記載要領

1. 調査結果及び考察を記入する
2. 状況写真は別途整理する。

課	新規 別 継続	継続	経常・特別別 目標との関連	経常 1-ア	担 当	開 発 箇 所	期 間	昭和 60年度 — 昭和 65年度	予 算 科 目	技 術 開 発	経 費	品 名	数 量	単 価	金 額
											物 件 費	調査用品		円	千円
題											役 務 費	現像. その他			
目的											人 件 費	(基 職) 臨 時	(2.5)人		()
目的											計	—	2.5		()
全 体 計 画		実 施 経 過		当 年 度 分											
				実 施 計 画			実 施 結 果			評 価 お よ び 普 及 計 画					
1. 試験地設定 (1) I, III令級林分の仕立本数別試験地 (2) ぼうが林分の芽かき試験地		1. ぼうがの芽かきと保育体系の検討 (1) 有用広葉樹の刈出しとぼうがを1~2本程度に芽かきする。 (2) 生長量を調査して比較する。		1. 不用樹種の刈払			2. 仕立本数の調整と生長量調査								
2. 調査事項 (1) 仕立本数と生長量調査 (2) " と形質調査 (3) 芽かきと保育体系の検討		2. 仕立本数の調整と生長量調査 (1) 雑かん木, 不整形木等を伐除し仕立本数を調整する。 (2) 隣接地に類似天然林の対象地を設定する。 (3) 生長量を調査し比較するとともに投資効果を考察する。													
3. 調査状況により昭和66年度以降の継続について検討する。															

試験経過記録

区分 自主

高岡 営林署

(様式4)〜1

課題

広葉樹天然林の人工補正施業法

1. 仕立本数の調整と生長量調査

(1) I令級林分

(カ) 宇去川国有林 54 区林小班内 面積 0.29 HA (0.15 + 0.14)

(キ) 宇滝尻 " 5:8 " " 0.12 "

(ク) 有用広葉樹の稚樹を刈り出し ぼうがを 1株当り 1~2本残り、芽かきを実施する。

(ケ) 不用樹種を伐除する。

(2) III令級林分

(カ) 宇内山国有林 112 区林小班内 面積 0.15 HA

2. 生長量調査と対象区との比較

62年度初期実施予定

状 況 写 真

区分 自主

高岡 営林署

(様式6)

場所 字 内山 国有林 112 林班 巾 小班
撮影年月日 昭和 61 年 6 月 11 日
附記事項 不整形木の伐除と仕立本数の調整

場所 字 内山 国有林 112 林班 巾 小班
撮影年月日 昭和 61 年 6 月 11 日
附記事項 不整形木の伐除と仕立本数の調整



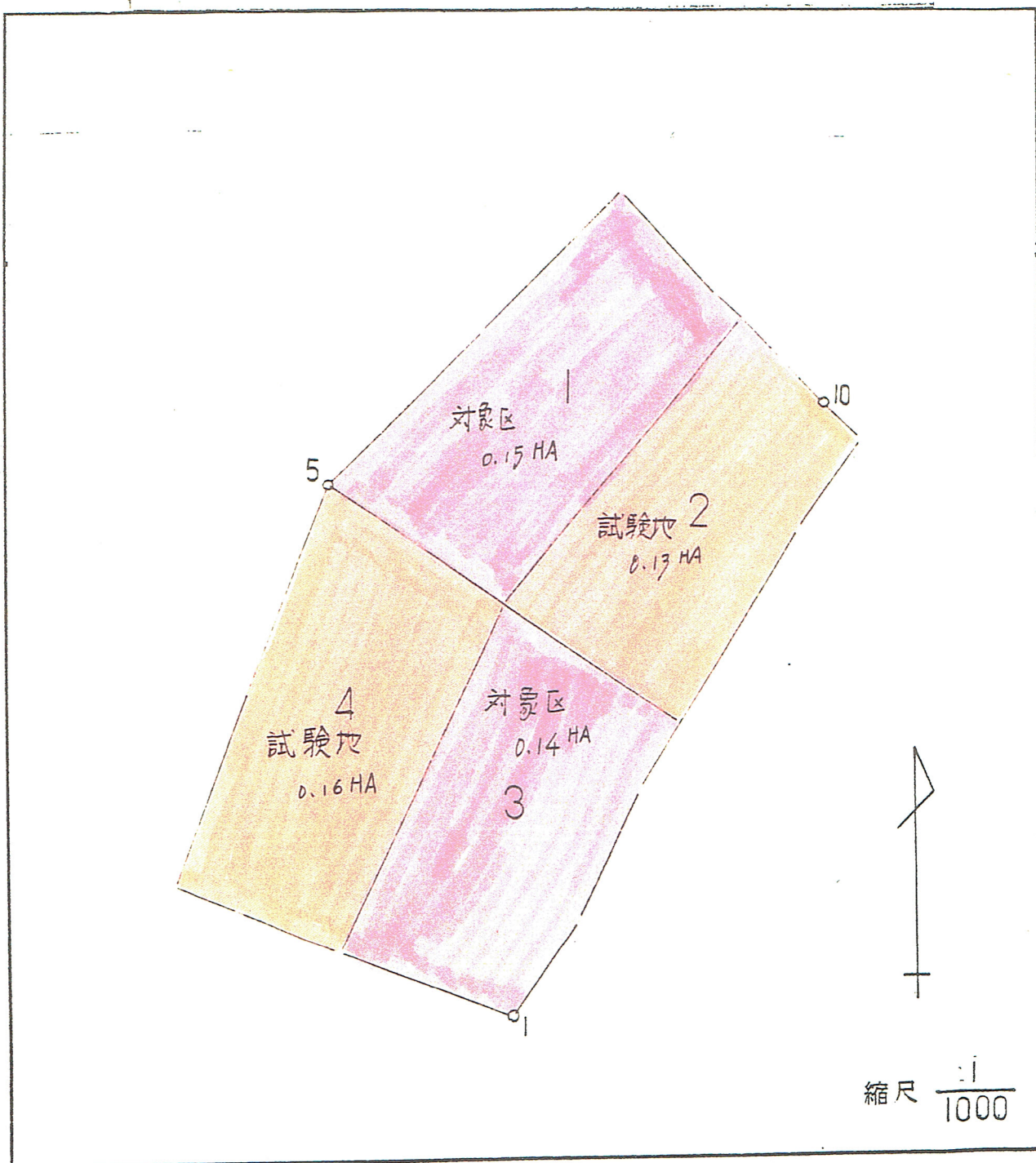
昭和60年度

技術開発実施設計実測図

宇去川国有林5412林小班

区域面積 0.58^{HA}

試験地面積 4-0.16^{HA} 2-0.13^{HA}

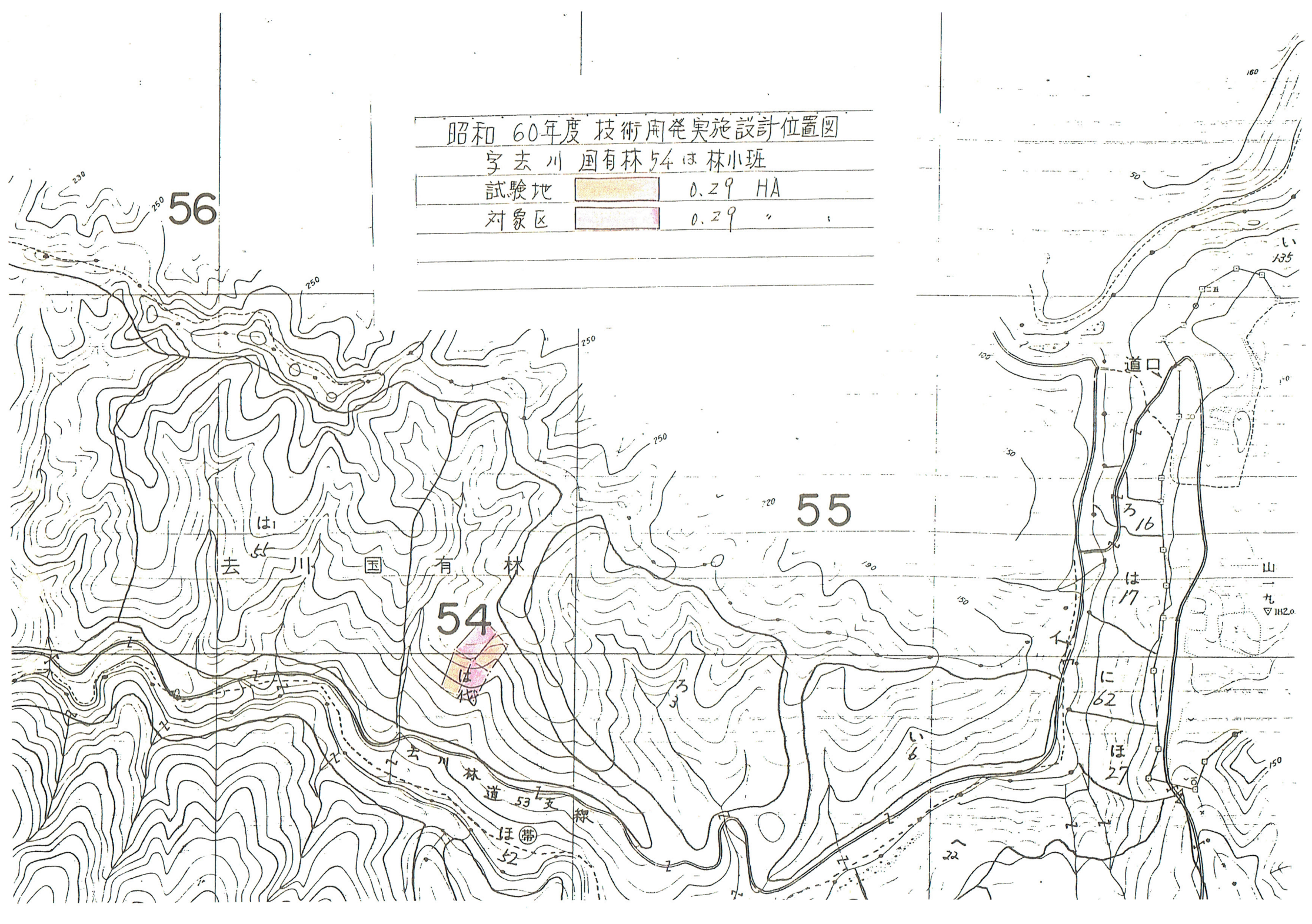


昭和 60年度 技術開発実施設計位置図

字去川 国有林 54 林小班

試験地 0.29 HA

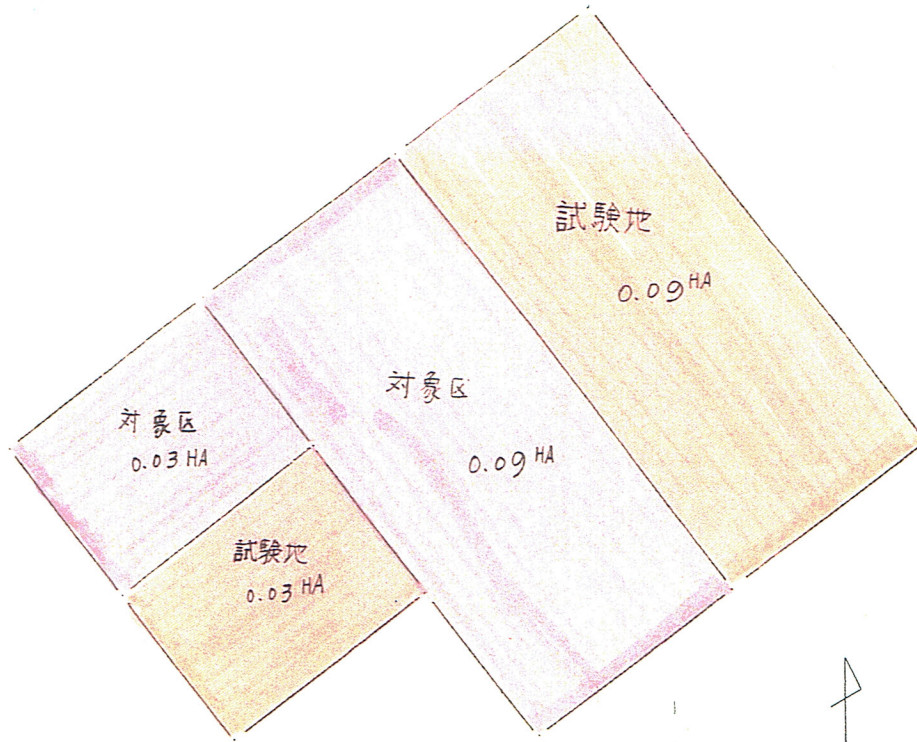
対象区 0.29 "



昭和60年度技術開発実施設計実測図

字蜷尻 国有林 5に8 林小班

試験地	0.12 HA
対象区	0.12 "



縮尺 $\frac{1}{5,000}$